

湯来ふるさと新聞

第46号(平成21年9月8日発行)

738-0513
広島市佐伯区
湯来町伏谷 535
湯来ふるさと
プロジェクト
☎0829-86-1439

こんにやく畑の隣に 案山子(カカシ)が出現

湯来プロのこんにやく畑の隣に、案山子が10体出現しました。この案山子は、湯来食農体験の皆さんが手作りされたものです。結構、ユニークな顔をしています。見てください。



こんにやく畑で病気が流行

今年の夏は、例年にない長雨と日照不足。こんにやく畑では「葉枯病」「腐敗病」が多発しているようです。この病気は細菌によって感染すること。病気になったこんにやく芋の茎を切つてすぐにビニール袋に入れて持ち出し、処分しなくてはなりません。

佐伯区農林課が緊急に開催した8月26日、27日のこんにやく栽培研究会には、湯来プロメンバーも参加し、予防薬を入手しました。

そして8月29日(金)に、佐々木万八さんが、散布してくださいました。湯来プロのこんにやく畑は、まだ比較的良好なようです。



細菌を運んでしまうので、できるだけ、こんにやく畑には入らないようにしましょう。

湯来ふるさとまつりに 出店します

10月25日(日)に開催される第20回湯来ふるさとまつりに、今年は湯来プロとして出店することになりました。

予定では「カレーライス」と「カレーの恋人(濃縮リンゴエキス)」と今年収穫するこんにやく芋を使った手づくりこんにやくの販売です。まつり前日の24日(土)と25日(日)は、スケジュールを空けておいてください。

そばの種を蒔きました

9月6日(日)に、そばの種を蒔きました。

種蒔きを前に、あらかじめ草を刈り、焼いて、すいてくださっていたので本当に助かりました。ありがとうございませう。当日は、カンギを切つて、種をまいて、土をかぶせる作業だけでした。蒔いたそばの種は1キロ余り。種が残っていません。種を蒔いてみたい人は早めにお知らせください。(早くしないと蒔き時を逃します!)
そばの発芽は、4、5日後。そばの成長は早く、手間も肥料もそんなにかかりませんが、刈り取り、はぜ干し、脱穀、製粉に手間暇がかかります。「そば打ち」の習得も必要ですので、がんばりましょう!



ところで再びこんにやく芋の話。話によると、湯来町のこんにやく畑はほとんどが「葉枯病」にやられたとのこと。湯来プロの畑のこんにやくが比較的被害にあっていないのは「放任」していたことが幸いしたようです。あとひと月余りで収穫時期を迎えます。とにかく

このまま、無事に育つてくれることを願います。

水内川で大ハシヤギ!

9月6日(日)、農村環境改善センター前の水内川で、ハート・アドベンチャーセンターすみれの谷貝楽部さんが、カヌーや川遊び体験をしていました。参加したのは、広島市レクリエーション協会の皆さん約90人。子どもたちは本当に楽しそう、気持ちよさそう!カヌーもヘルメットもライフジャケットもカラフル。子どもたちの歓声は、湯来プロの畑まで届いて来ました。



9月13日は狐原山へ集合!

9月13日(日)には桜の森・狐原山で作業をします。7月、2度も雨で作業が流れましたが今度は大丈夫でしょう。都合の付く人は、狐原山に集合を。もりメイトさん数人の応援があります。もりメイトさんは早くこられるので、できるだけ

朝8時集合を目標にしてください。準備の都合がありますので、出欠を9月11日までに事務局へお知らせを。(090・1183・4626)

お知らせ

●水内ふるさとまつりの日程は、9月10日(木)に決まる予定です。

●今後の活動予定

9月13日(日) 午後7時半~ 定例会 湯来南公民館

10月11日(日) 午前8時半~ クリーンウォーク

10月24日(土) 湯来ふるさとまつり準備(農改C調理室)

10月25日(日) 第20回湯来ふるさとまつり(湯来総合体育館前広場)

●巨大鍋で芋煮会の記事

9月6日に山形市内で「日本一の芋煮会フェスティバル」があったが、芋煮が足らなくなつて、2千人分もの料金(1食300円)を払い戻した...という記事を発見しました。

3万食分の芋煮を作った巨大鍋の大きさは直径6メートル!(深さは不明)使った材料は、里芋6トン、山形牛肉1トン、ネギ3500本、こんにやく3500枚、砂糖20キロ、しょう油70リットル、酒50升、水6トン!この量が想像できますか?凄いですね。
湯来プロの大釜だったら、何食分の豚汁ができるんだろう...。気になる...